

平成30年度第1回赤平市総合教育会議シナリオ

▼日時：平成30年12月26日（水）午後4時00分～午後4時40分

▼会場：赤平市役所庁議室

▼出席者

（構成員）

市 長	菊 島 好 孝
教育委員	山 本 由美子
教育委員	瓜 郁 夫
教育委員	坪 谷 嗣 香
教育委員	高 澤 司
教 育 長	多 田 豊

（事務局）

総務課長	熊 谷 敦
庶務担当主幹	新 堂 ゆかり

（企画課）

企画課長	畠 山 渉（代理 主幹 伊藤彰浩）
------	-------------------

（教育委員会）

学校教育課長	大 橋 一
社会教育課長	伊 藤 寿 雄

▼内容

○ 総務課長

本日は、お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。

只今から、平成30年度第1回赤平市総合教育会議を開催させていただきます。

会議に先立ちまして、菊島市長よりご挨拶を申し上げます。

1 市長挨拶

○ 市長

皆様、ご苦労さまでございます。

平成30年度の第1回目の赤平市総合教育会議を開催するにあたり一言ご挨拶を申し上げさせていただきます。

本日は、お忙しいところ、ご出席いただきありがとうございます。また、今年1年、本市の教育行政に関しまして大変お世話になりましたことに改めてお礼を申し上げます。

平成27年度から新しい教育委員会制度がスタートし、まもなく3年半が経過いたします。多田教育長をはじめ、教育委員各位におかれましては、新制度に基づきまして適切な運営を行っていただき、感謝を申し上げる次第であります。

昨年度の総合教育会議では、平成30年度実施予定の主要事業（教育関係）として、赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略関係事業6事業とその他教育関係事業として2事業について、この総合教育会議でご協議いただいております。本年7

月には、赤平市小・中学校適正配置計画に基づき、建設を進めていた待望の統合中学校が完成したところですが、皆様のご支援・協力に感謝申し上げる次第であります。

また、教育の喫緊の課題であります、少子化による児童生徒の減少等から、学校の適正規模が図れるよう小学校の再編も計画に基づき進めているところであります。

本日の議題として、「平成31年度実施予定の主要事業（教育関係）について」ですが、財政状況が厳しい中でございますけれども、大綱に掲げた基本方針を実現するために、ご意見をいただければと思っております。

教育の推進にあたっては、今後も十分な協議を行いながら進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

以上簡単ではございますが、開催に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

○ 総務課長

ありがとうございました。

それでは、早速会議次第によりまして議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、赤平市総合教育会議の運営に関する要綱第4条第1項の規定によりまして、市長が議長となり進めさせていただきます。市長、よろしくお願いいたします。

2 議題

(1) 平成31年度実施予定の主要事業（教育関係）について

○ 市長

それでは早速議題に入りたいと思います。

議題の1点目、平成31年度実施予定の主要事業（教育関係）につきまして、学校教育課長より説明いたします。

○ 学校教育課課長

市長が提案する協議事項としまして、平成31年度実施予定の教育関係の主要事業について、説明いたします。別紙資料をご覧ください。

まず、赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略関係事業について説明いたします。

①人材育成・定住促進奨学金制度についてです。

事業の概要及び事業の進捗状況につきましては資料に記載のとおりであり、平成28年度より制度を開始いたしました。今年3月に6人が卒業し2人が転出しており、現在の貸付者は31人となっております。また、今年度返還開始2人の内、1人が市内居住及び市内企業等就労で全額免除となっております。

なお、平成31年度実施予定の内容につきましては、平成30年度と同様に実

施いたします。

②高等学校等通学費等支援事業についてです。

事業の概要及び事業の進捗状況につきましては資料に記載のとおりであり、平成28年度より事業を開始いたしました。平成30年度の支援の状況は、四半期の二期目分まで支給を終えており、現時点で237人に対し支給しております。

なお、平成31年度実施予定の内容につきましては、平成30年度と同様に実施いたします。

③公設塾の開設についてです。

平成29年度は、事業名を「学生ボランティア事業（子ども塾）」としておりましたが、学生ボランティア事業の人材を活用した学校の長期休みにおける自由参加の学習会にとどまっており、今年度より公設塾を開設したため、事業名及び事業の概要を変更いたしました。事業の概要及び事業の進捗状況につきましては資料に記載のとおりであります。学習支援を目的とした「学生ボランティア事業」につきましては、今後も継続して参ります。

なお、平成31年度実施予定の内容につきましては、年間を通した学習の機会を提供できるよう、5月から2月までの10ヶ月間に拡大して開設するために、費用を予算計上する予定であります。

④学校ICT環境整備事業についてです。

事業の概要及び事業の進捗状況につきましては資料に記載のとおりであり、平成27年度より事業を開始いたしました。平成27年度は小学校にタブレット端末6台、平成28年度は小学校に18台、中学校に4台、平成29年度は小学校に78台、平成30年度は小学校に58台、中学校にデスクトップ端末35台を含む75台を配置しました。

なお、平成31年度実施予定の内容につきましては、児童・生徒用タブレット端末及びデスクトップ端末209台をリース、生徒用授業支援ソフト、教職員用端末30台を更新予定で、整備予算として11,525千円を計上する予定であります。

⑤学校施設整備事業についてです。

事業の概要及び事業の進捗状況につきましては資料に記載のとおりであり、統合中学校校舎等建設工事につきましては、本年度をもって完了したところです。また、小学校統合事業につきましては、平成34年度からの3小学校新築統合を目指し、統合準備委員会を立ち上げ協議を進めているほか、「統合小学校基本構想・基本設計業務」に着手しております。

なお、平成31年度実施予定の内容につきましては、統合小学校建設事業として、実施設計67,221千円、旧赤平中学校解体工事194,365千円を予算計上する予定であります。

⑥炭鉱遺産公園整備事業についてです。

事業の概要及び事業の進捗状況につきましては資料に記載のとおりであり、平成30年7月14日にガイダンス施設を開設し、平成31年1月に12市町連携

による炭鉄港の日本遺産登録申請を予定しております。また、平成31年に赤平市単独による炭鉱遺産の国の有形登録文化財申請を予定し、赤平市炭鉱遺産文化財化検討委員会で協議中であります。

なお、平成31年度実施予定の内容につきましては、ガイダンス施設案内看板設置4,100千円、自走枠工場屋根補修292千円、駐車場整地242千円を予算計上する予定であります。また、財源につきましては、全額あかびら創生基金及びあかびらガンバレ応援基金を予定しております。

次に、平成31年度実施予定の主な教育関係事業について説明いたします。

①虹ヶ丘球場施設整備事業についてです。

事業の概要につきましては、施設の老朽化により、赤平市野球連盟より要請を受け、内外野整地・ベース取替え・ピッチャープレート取替えを行うもので、平成31年度実施予定の内容につきましては、改修費として2,355千円を予算計上する予定であります。

なお、財源につきましては、全額あかびらガンバレ応援基金を予定しております。なお、今回の提案事業につきましては、今後の予算協議等において、事業費などが変更になる可能性がありますので申し添えます。

以上で、平成31年度実施予定の教育関係の主要事業についての説明を終わりますので、よろしくご協議をお願いいたします。

○ 市長

ただいま平成31年度実施予定の主要事業（教育関係）につきまして説明がりましたが、これについて協議をしたいと思います。ご質問、ご意見等ございませんか。

○ 坪谷委員

総合戦略関係の、②高等学校の通学支援についてなんですけども、これ丁度、子ども手当と言うのがありまして、ちょうど中学校3年生までで支給が終わって、月額5,000円が高校生に対してもらえるということで、家庭としては、非常に助かるのではないかと思いますので、これからも継続して行って欲しいと思っています。

○ 市長

高校の通学費の助成ですか。

○ 坪谷委員

はい、通学費に限るということではないと思うのですけれども、月額5,000円ずつ支給してくださるということで、これはやっぱり保護者としては、非常に助かる。高校生ともなるとやっぱり月々出ていくお金も増えますのでこれをしていただいて、継続していただければ非常に助かると思います。

○ 市長

この5, 000円は通学費の助成ですね。

○ 学校教育課長

現金で支給しており、名目は通学費となっております。

○ 市長

この他、何かございますか。

○ 山本委員

公設塾のところでお願いしたいのですが、おわかりのとおり赤平の学力がまだかなり低いと言う事で、念願の公設塾を、9月から開いていただいてありがたいと思っております。やはり学習習慣の定着化って、なかなか今、難しいのかなと、思っておりますが、色々な手段をもってやっていかなければならないと思っておりますので、この公設塾、まだ4カ月しか開いておりませんので、学習効果は、どれだけあったかという分析は、これからだと思いますが、決してマイナスではないと思います。それで小学校が、114名という予想以上の希望者がありまして、中学校ももうちょっと欲しかったんですが、34名となっておりますが、今後やはりこれを継続して頂いて、要望といたしましては、次年度は倍になってしまうんですが、さらなる効果を産むのではないかと思いますので、次年度も継続して頂ければと思っております。よろしくお願い致します。

○ 市長

学校教育課長の方から言っていたとおり、30年度は、9月から2月までの6カ月間ということでありました。31年度は、年間を通した学習の機会ということで、5月から2月までの、10カ月ということで拡大して開設する。これを山本委員のほうから、是非とも予算計上をいただきたいとのことで承ります。

○ 市長

その他、何かございますか。

○ 瓜委員

はいそれでは、私の方から炭鉱遺産整備事業なんですけれども、炭鉱ガイダンス施設が予定していたより、はるかにお客さんをお招きしているということで、喜んでいるところであります。

行政が箱物を作ると予定した数より下回ることが常なんですけど、赤平の場合、予定した数よりも多いということが結構なことだと思っております。

私友達が赤平に来た時、そこに案内した時は大変喜んでもらいました。

私、東京で学生をしていたときも、北海道出身と言うことを、胸を張っていえましたが、赤平出身と言うこと、産炭地出身と言うことをなかなか、言えずに後ろめいたものを感じていました。

でも、今になって思いますと日本の経済というのは、産炭地があつてこれだけ復興したのだと言うことを考えますと、もっと子供たちにも、赤平市出身と言うことを、誇りを持っていいのではないかと思っております。

教育の三本柱で良く、家庭教育、学校教育、そして社会教育と言われておりますけれども、これからはやっぱり、家庭教育の方にも踏み込むような、これなかなか難しい事なんですけれども、子供たちのいるところで、子供たちの声と言うものを育てて行くためにも、ガイダンス施設をもっと利用すべきではないかと思っております。そのためにも、リピーターを増やすためにも、これから何かと周辺を管理していかなきゃならないなと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

○ 市長

周辺整備ということと、子供たちにも認識をさせるようなことを、やっていただきたいをいうことですね。

教育関係でも、結構、学校と連携して施設の見学とかやっているんですよね。

○ 社会教育課長

この12月に豊里小学校から4年生が見学にこられて、これで赤中、市内の3小学校すべての学校が、全学年ではないですが、すべての学校から見学に来ています。

この辺も、いろいろ校長会を通じて要望しているのは、低学年は見学に来ていただいて、高学年になったら感想文を書いていただいて、その感想文をガイダンス施設に掲示する。

新年度は新年度で、子供たちの作品を展示する事で、より保護者、祖父母など、来ていただく機会にもなるので、子供の絵画展、写真展等何をするかと言うことは、今検討していますけれども、なんだかの子供の展示会をやりたい。市外の方は、ガイド付き見学が、圧倒的でして、ガイド見学100%のうち88%ぐらいが、市外です。地元は12%です。まあそれだけ多く市外から来ていただいて、ガイド料が高いですけれども、今後も、来年度以降ですね、観光ツアー会社と連携を進めながら、努力をしていきたい。

○ 市長

そういうことで、今はガイド付きの市外の方が多いということで、市外88%、地元が12%、まあ地元も小学校の子供たちが見学に来て、後世に伝えていただけるような施設にしていきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○ 市長

その他、何かありますか。

○ 高澤委員

はい、2つお願いいたします。

1つ目は、①にございます、人材育成定住促進奨学金制度ですが、私も企業に勤める者として、非常に優秀な人材が赤平から出て行っているなど感じていました。ここに書かれているように、今年一人の方が市内に就労されるということで、書かれています、こういったことで人材を外に出さない、優秀な人材を外に出さないということに関しては、非常に素晴らしい制度だなと思いますし、これに関しては、今後も継続していただければなと思います。

それから、虹ヶ丘球場整備のことが書かれておりますけども、この赤平から甲子園に行くようなピッチャーが出せると言う、喜ばしいニュースもこの秋に入ってきております。このようなことから野球を通じて人材の育成、人の繋がり、そういう勉強にもつながる事から、私も野球でいろんな人とつながりまして、今も深くお付き合いをさせて頂いております。そういう面からも、是非、身体を鍛える、心を鍛えると言う意味からも、この球場の設備事業に関しても、是非予算付けしていただければなと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

○ 市長

大体こちらに書かれていることは、継続して欲しいと言うことだと思いますけども、私ども協議しながらしっかり皆様方のご意見を、繁栄できるように努力をさせて頂きたいと思っております。

その他、何かございせんか。(なし)

今後、教育委員会の中で、予算に関する議論をされることだと思いますけれども、その後、予算の要求を受けまして、吟味いたしまして必要な予算を措置してまいりたいと思っております。

先ほどの予算の説明にもございましたが、赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略では、「若者が安心して子どもを生み育てられる地域づくり」等4つの基本目標を掲げ、施策を実行していくこととしておりますが、今後も、教育委員会と市長部局が一体となり、様々な政策を展開していかなくてはならないと思っておりますので、是非、教育委員の皆様のご協力をいただきたいと思います。

以上で、議題(1)の協議を終わります。

(2) その他

○ 市長

次に、(2)のその他についてですが、本日、協議した以外のことで、何かご意見等はございせんか。

(意見等なし)

特にないようですので、以上で議題の協議を終了したいと思います。

3 諸連絡・閉会

○ 総務課長

議事進行ありがとうございました。

次第の3 諸連絡・閉会であります。次回の会議の開催につきまして、ご連絡いたします。

児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合には必要に応じて会議を招集させていただきたく存じますが、通常の場合であります。と新年度に入ってから開催を予定しておりますので、改めてご案内をさせていただきたく、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、平成30年度第1回赤平市総合教育会議を閉会といたします。本日は、ご協議ありがとうございました。